

新富町 議会だより

3月定例会

- 令和2年度補正予算
- 令和3年度当初予算
- 一般質問（6人が登壇）
- 委員会報告
- 議案一覧と審議結果
- 町民インタビュー（第7回）

111号

2021年3月

令和3年3月議会定例会報告

令和2年度一般会計、特別会計及び水道事業会計 補正予算を可決

一般会計補正予算

一般会計は、事業費等の確定に伴い、項目ごとの増減調整を行いました。それにより2億5,767万3千円が減額となり、予算の総額は**150億8,937万4千円**となりました。

国民健康保険特別会計補正予算

歳出は、医療費の見込みから保険給付費を減額調整したほか、基金積立金等を計上、歳入は交付決定及び医療費の見込みにより国、県支出金等を増減調整したほか、前年度繰越金を計上。それにより6,817万1千円が減額となり、予算の総額は**21億3,629万5千円**となりました。

後期高齢者医療特別会計補正予算

歳出は、後期高齢者医療広域連合からの通知に基づき共通経費負担金及び療養給付費負担金等に係る納付金を増減調整し、歳入は、後期高齢者医療保険料及び一般会計繰入金等を増減調整。それにより1,021万円が増額となり、予算の総額は**4億4,182万9千円**となりました。

介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算

歳出は、介護給付準備基金積立金を計上し、また保険給付費の介護サービス等諸費と介護予防サービス等諸費、地域支援事業で増減調整を行いました。歳入は、介護給付準備金積立金を計上。それにより1億2,635万5千円が増額となり、総額は**17億6,905万4千円**となりました。

土地取得特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額は変更せず、用地先行取得業務に係る繰越明許費の設定を行いました。

※繰越明許費とは歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費をいいます。

令和3年3月議会定例会報告

令和3年度新富町一般会計、特別会計及び水道事業会計 当初予算を可決

一般会計予算 ※前年比26.1%増

119億4,154万4千円

国民健康保険特別会計予算 ※前年比10.6%減

19億7,170万円

後期高齢者医療特別会計予算 ※前年比7.5%増

4億4,666万4千円

介護保険特別会計(保険事業勘定)予算 ※前年比0.07%減

15億8,194万9千円

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算

504万8千円

土地取得特別会計予算 ※前年比91.1%増

1億371万9千円

水道事業会計予算(収益的收入及び支出の予定額)

収入3億771万6千円 支出2億7,979万2千円

Pickup! 新型コロナウイルス対策

新型コロナワクチン接種に向け、コールセンターを設置。スムーズな対応ができるよう準備が進められていました。



非接触型のキャッシュレス決済対応ポスレジスターを導入。役場町民課窓口を設置しています。



まつうら み お
松浦美緒議員

教育長

ICTを活用した海外派遣事業に
取り組む考えは

オンラインによる交流等を検討

問 GIGAスクール構想のICT端末を活用し、全ての子ども達が参加できる、オンラインによる海外との交流の考えは。

答 コロナ禍だからこそ、多くの子ども達が参加できる事業として、ICTを活用したオンラインによる交流会を検討していきたい。

問 海外と教室を結んだ「オンライン研修」の際にVR（仮想現実）を取り入れる取り組みはできないか。

答 VR（仮想現実）の活用により、通常は立ち入ることができない場所や別の角度からの映像など、バーチャルならではの体感が可能。コロナ禍の



新しい学びの一つに
VRの活用を

国文祭・芸文祭の
子ども達のかかわりについて

問 昨年開催予定だった国文祭・芸文祭が本年7月から10月までに延期になったことを意味のある事と捉え、本町の発展に生かしていくことが大切と考える。子ども達にも何らかの形で全員参加できる取り組みができるか。

状況において、子ども達にICTを活用した研修として何が可能か、効果的か、様々な角度から検討していきたい。



答 ボランティアなど子ども達が何らかの形で参加することで、文化芸術について関心を持つ貴重な機会になるかと思えますので、今後学校や実行委員会とも検討していく。

SNSを活用した
自殺防止対策は

問 2020年の全国の自殺者数は前年より908人増加した。特に女性、小中高校生が増加傾向にあり相談体制を強化する必要があると思う。電話での相談に加え、SNSでの相談体制の確立を望むが考えを伺う。

答 若い人が相談しやすい体制であるSNSによるメール相談に対応した、県の相談窓口の案内に努めていく。

新たな日常の下での
生活支援について

問 新型コロナウイルス感染症の影響により子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクやヤングケアラーと呼ばれる家族の世話や介護を引き受けている18歳未満の子どもがいることも深刻である。このような児童等支援の考えを伺う。

答 子どもの貧困、自殺増加、ヤングケアラーといった子ども達の為のサポート支援は重要。子ども食堂をはじめ民間の居場所、相談ができる体制支援を検討していく。



コロナ禍で子どもの貧困が
急増している



「議員と語ろう会」で出た意見をまとめ
町長へ手渡す

問 町長がめざす子育てしやすい町づくりとは。
答 議会からの政策提言については、早急に対応できる政策はスピード感を持って対応したい。調査研究を必要とするものについては、多角的な視点から今後の方向性を決めて対応していきたい。



よしだけんいち
吉田憲市議員

町長

政策提言の対応は

できる政策はスピード感を持って



西都児湯クリーンセンター
「再生の森」

SDGsに向けた ゴミの減量化を

問 ゴミの現状と今後の対策は。
答 ゴミ処理に関する令和元年度の処理費用実績は、西都児湯環境整備事務組合への負担金は1億9700万円となっており、適正なゴミ処理の軽減及び資源リサイクルの推進等、持続可能な開発目標達成のためにも課の新設を検討していく。

農業政策について

問 減農薬減科学肥料の実践は。
答 自然環境保全の観点から減農薬減科学肥料栽培への取り組みが重要。行政機関やJAと協力し、環境にやさしい安心安全な農作物の栽培技術として、有機栽培や減農薬栽培に取り組もうとする農家を支援する。

問 土作りを見直す必要性は。
答 近年、温暖化等による天候不順により、水稲や野菜など農産物に大きな影響を与える異常気象が頻繁に起きている。そうした中で、高品質な農産物を安定的に生産し供給するには土づくりが基本である。土壌環境を改善し作物が必要とする養分や水分をバランス良く十分に供給できる能力や地力を高めることで土壌が持つ作物の生産力を維持向上できる。有機質堆肥による土づくりなど自然環境の保全と持

続可能な農産物を生産するための取り組みを推進したい。本町の基幹産業である農業の振興発展のため新たな挑戦ができる環境を整え、持続可能な魅力ある生産基盤を構築する必要がある。そのため新たな高収益作物の導入、地元の農畜産物を活用した加工品の開発、更に新たなマーケット開拓及び販売力強化などの出口戦略を進める。



西河原地区基盤整備は

問 西河原地区基盤整備に係る受益者の負担軽減策と早期完成に向けた取り組みは。
答 公共性の大きな部分などを配慮し、事業費の負担軽減を図りながら、農地の担い手の集積率にに応じて地元負担を行う中心経営体農地集積促進事業に取り組み、早期着工及び完成に向け進めていきたい。



新田地区の発展に期待が高まる

問 成法寺住宅跡地の活用策はいつ地域に示されるのか。
答 解体工事は令和3年3月24日完了を予定している。次に、住宅更地後の総合的な排水対策計画について、跡地を有効活用していくうえで、排水整備は喫緊の課題である。最小の経費で最大の効果を挙げるよう引き続き調査・研究を行っていく。更地後の有効活用については、地域の皆さまのご意見をお伺いしながら新田地区の活性化に繋がる活用を検討していきたい。



あまんせいろう 阿萬誠郎議員

町長

成法寺住宅跡地 活用策の提案は

地域住民の意見を伺い活用検討



地区の支えとなる高齢者や子どもたち

地区自治会の活性化策は

問 地区組織の意義や重要性の認識は。

答 地域生活での全般にわたる共同的関係に基礎を置き、特により良い生活環境づくりのための活動を主に行っている。また、日頃より交流を深め住民同士が連携し、住みよい地域づくりに貢献されている組織であると考えている。



問 地区の衰退は地域の活力低下に繋がる。自治会のあり方など地域住民と共有するにはその条例のたたき台を作成し町などそれぞれの役割を示したうえで、住民の意見を伺い、地区の支援策として、丁寧に条例の検討を進めてはどうか。
答 現在、条例の制定は行っていないが、「住民自治基本条例」を制定している自治体もあるので今後検討していきたい。

問 地区加入率（住民票上の加入率）の推移は。
答 平成28年度は61・0%、平成30年度は63・8%、令和2年度は63・1%である。



医療的ケア児家族への負担軽減を

インフルエンザ予防接種の助成見直しについて

問 医療的ケアが日常的に必要な子ども達について、かかりつけ医などの町指定外医療機関でのインフルエンザ予防接種費用の助成見直しの考えは。
答 かかりつけ医等で接種した費用をいったんお支払いいただき、後日申請により助成額が受け取れるよう制度の見直しを図りたい。



問 町内にはウォーキングに適した場所がない。ウォーキングコース等の整備の考えは。

答 ウォーキングしやすい場所づくりは公約目標のひとつ。歩きやすく距離がわかり景観が楽しめる歩道の整備を検討する。



ウォーキングコースの整備を

公約目標のひとつ整備を検討



上新田小学校跡地の整備イメージが示された

上新田小学校跡地利用は

問 上新田小学校跡地利用計画については、上新田の一等地であり、地域のにぎやかさの中核となる場所にすべき。私見であるが病院、介護施設、コンビニ、温泉等の生活に直結した施設を整備すべき。

答 整備中の古民家に加えて、コミュニティ施設用地や事業所の誘致エリアを配置したものにしたい。

総合型地域スポーツクラブの設立の考えは



「議員と語ろう会」の意見をもとに調査を行った

問 西都児湯郡で総合型地域スポーツクラブが無いのは新富町だけ。プロサッカーチームが所在する町になった今、サッカーの機運隆盛とスポーツ振興のため同クラブを設立してはどうか。

教育長 住民の健康づくりや学校教育に活用するため、計画的に考えていくことが大切である。

町長 本町はサッカーに限らずスポーツに適した環境にある。理想は子どもの時に色々なスポーツを経験して、自分が何を目指すかが大切、重要であり真剣に考えていきたい。

議員と語ろう会で出た意見について

問 議員と語ろう会で遊具・遊園について意見があり、現地調査を行った。遊具の老朽化、遊具の少ない遊園、遊園が一つしかない地域等が確認できた。更新や増設の計画は。

答 遊具指針の中で危険遊具の指定があり、安全に遊べる遊具を考えていきたい。室内遊具の要望もあり検討している。親が子どもから目を離さず子どもと一緒に遊べる遊具の整備が重要である。

問 議員と語ろう会において、運動部活動に外部力活用之意見があった。外部指導者の活用についての考えは。

答 現在、3つの中学校に複数名の地域の方に外部指導者をお願いしている。外部活力の活用で、部活動指導員が制度化されており、来年度1部活動で運用したい。



いしざきしゅんじ 議員
石崎 俊二

町長

町内の高齢者のみの世帯数は

2483世帯で全世帯の31.5%

問 高齢者世帯の介護の現状は
答 住民基本台帳で確認できる
範囲だが、令和3年2月26日
時点で、在宅で介護している
高齢者世帯は、239世帯と
なっている。

問 高齢者施設の利用状況は。
答 特別養護老人ホームや老人
保健施設等への入所者と捉え
ると、令和2年11月サービス
提供分では、要介護認定68
3人中、23.7%にあたる1
62人となっている。

問 介護に関するちょっとした
困りごとの相談窓口はどこに
すればいいのか。

答 役場福祉課や社会福祉協議
会が窓口となっている。

問 民間の支援団体や地域との
連携は。

答 地域包括支援センターが各
団体や地区の区長と情報交換
するなど、連携をとりながら
事業を行っている。



問 民間支援団体への活動に対
する補助は。

答 みんなが集える居場所の立
ち上げや、安定するまでの運
営資金としての「居場所づく
り事業補助金」、介護予防を目
的とした住民主体の自主活動
として行う、生活支援に対す
る間接経費を補助する「地域
支援支え合い活動支援事業補
助金」がある。



コロナ禍でキャンピングカーの
需要が高まっている

新富町の観光について

問 J3テゲバジャール宮崎の
ホームスタジアムとなってい
るユニリーバスタジアム新富
は観光スポットとしてなり得
るのか。

答 J3公式戦のように、他県
のチームとの試合が多く行わ
れ、県内外からの来場者が来
られることが予想され、スタ
ジアムを起点とした本町の観
光振興に資するものと考えて
いる。

問 本町には宿泊施設が少ない
と以前から指摘されているが、
施設を誘致または建設するよ
りはハードルが低いと考えら
れる、車中泊専用の駐車場を
整備する考えはないか。

答 宿泊施設が少ない本町にお
いて、手軽に泊まれる車中泊
専用駐車場を整備することは、
観光客の利便性向上につなが
るものと考え、設置場所や管
理運営方法について今後検討
していきたい。

小学校における教科担任制 の取り組みは

問 2022年度から全国で本
格導入される見通しの教科担
任制の取り組みは。

答 令和4年度を目処に、小学
校高学年からの一部教科担任
制の導入が示された。本県に
おいてはモデル校を指定し検
証を行っており、今後の本格
導入に備えているといった状
況である。



よしだ たかゆき
吉田 貴行 議員

町長

給食無償化、今後も実施を

財源確保し今後も実施したい

問 コロナ禍のもと、学校給食の無償化を実施してきたが、今後も実施できないか。

教育長 令和3年度も小中学校の給食費を全額補助したいと考えている。

町長 財源をしっかりと確保し、今後も無償化を実施していきたい。



問 教員の変形労働時間制は長時間労働の改善にはならないと考えるが、教育長の見解は。
答 学校職員の在校時間等の把握や制度導入の課題等を整理し、現実的なものかどうかも含め検討していきたい。

新田原基地の
地上騒音対策の内容は

問 基地が示した地上騒音対策の内容の説明といつ頃に完成するのか。

答 基地からは、基地西側外周道路に沿って土堤を構築する旨の説明を受けた。令和3年8月上旬頃には完成するのではないかと考えている。今後も地上騒音軽減を図るための対策がとられるよう努めていく。

問 弾薬庫建設について、経済産業大臣の承認はどのようなものか。
答 令和2年12月17日付けで承認を受けたという連絡を受けた。

新型コロナウイルス感染症
被害の実態をつかみ支援を

問 非正規労働者や農家のコロナ禍による被害の実態をつかみ、必要な支援の実施を。

答 非正規労働者の実態を把握する方法がない。しかし、農家も含め、実態をつかむ努力をしたい。

問 医療機関、高齢者施設等への定期的なPCR検査はできないのか。

答 県内全域の施設等に対象範囲を拡大し実施できるように、引き続き県に要望していく。



土堤が作られる予定の基地西側
地上騒音は軽減されるのか



視覚障がい者への
対応について

問 信号機の視覚障がい者用付加装置の設置整備はできないか。

答 警察と相談しながら、設置整備をすすめていきたい。



委員会報告

議会活性化特別委員会
調査・研究 文教厚生常任委員会

昨年2月に**第一回議員と語ろう会**を開催しました。テーマは「子育てしやすい町」ということで、参加者を募り町民との意見交換を行い、貴重なご意見を多数いただきました。当委員会として全意見をカテゴリー別に振り分け、上位5分野を調査・研究し町長へ提言いたしました。

意見総数 140		
カテゴリー	意見数	割合
教育	40	28.6%
社会活動	34	24.3%
遊び	20	14.3%
医療	16	11.4%
福祉	9	6.4%
町民サービス	8	5.7%
道路	4	2.9%
防犯	3	2.1%
運動	3	2.1%
健康	3	2.1%

全意見をカテゴリー毎に選別
上位5分野に絞り調査・研究した

①教育について

○スクールバス利用の境界線

境界線にあたる地区(宮ノ首、柳瀬、祇園原)より要望があった。スクールバスは逐年充実されているが、保護者の負担軽減や事故等への安心安全が取り残されている地域が存在している。運行範囲の拡大と充実が必要との意見が多数であった。

○学童保育の充実や児童館の設置を

高学年は対象外の放課後児童クラブがあり、子供たちの安心安全を担保するため、全学年に対応できるような取り組みが必要である。特に小学校施設を活用したクラブの運営がベストだと考える。また児童館を設置して、子育ての充実を図る必要である。

○中学校の部活動で、外部コーチによる指導

部活動に外部コーチを活用し、競技のレベルアップが望まれる。特にサッカーは新富町として重点施策として取り組むべきである。➡部活動に関する教員の負担軽減のため外部指導員を必要に応じて配置。「部活動指導員謝金」として予算化されました。

○いじめの顕在化

いじめはあってはならないが、保護者の心配を考えれば調査結果を保護者へフィードバックに努めるべきである。

②社会活動について

○図書館の利用時間延長を

図書館の閉館は19時である。仕事が終わって利用したいという町民の声があるので、延長を検討すべきである。

○登下校時の見守り活動

地域の高齢者グループ等に働きかけて、見守りの充実を図れないか。高鍋町は高齢者の見守り活動が活発である。

○地域間、世代間交流

グラウンドゴルフ大会を町民の全年齢層が参加できるような、そんな取り組みをしてもらいたいという意見があった。グラウンドゴルフに限らず、過去に開催していた「町民運動会」のようなスポーツ大会を開催してはどうか。

③遊びについて

○公園・遊具に関する意見が多数

子供が遊べる遊具については、現地調査を行った。場所によっては遊具の種類と数の充実や更新を図る必要がある。特に上新田、下新田地域は、総合文化公園広場のような住民が集えて遊べる広場の整備が必要である。



上新田児童公園
(上新田保育園よこ)



新田児童公園
(新田保育園よこ)



成法寺児童公園
(一真保育園よこ)



下新田児童公園
(下新田保育園よこ)



平伊倉児童公園
(のぞみ保育園よこ)



下富田児童公園
(ひとつせ保育園よこ)



日置地区児童遊園
(いずみ保育園よこ)



総合文化公園中央広場
(新富町文化会館よこ)

④医療について

○子どもの医療費補助

新富町の医療費補助については保護者の評価が高い。今後も継続を要望する。

○インフルエンザ予防接種への補助

➡語ろう会のあと、インフルエンザ予防接種に対する補助を予算化、実施した。

○産婦人科病院の誘致の要望

現在は小児科病院、眼科病院は誘致され開院している。産婦人科病院の誘致はハードルが高いと考えるが、今後の課題として取り組みを要望する。

⑤児童福祉について

○病児、病後児保育施設の要望

病後児保育は現在2か所で受け入れを実施している。病児保育は受け入れにハードルがあり、今後の課題ではあるが、検討を要望する。

○オムツ替え室や授乳室が少ない

町総合交流センターは、みんなのトイレそれぞれにオムツ替え台は備えてあるが、授乳室は図書館に1か所のみであり、増設が必要である。役場庁舎内も同様にオムツ替え台はあるが、授乳室はないので設置を要望する。

○子どもに関する相談窓口など環境が不十分に感じる

➡新富町こども家庭総合支援センター「パプリカ」を設置、こども家庭全般に係ること、要支援児童及び要保護児童等へ支援を行っている。(役場1階福祉課7番窓口)

新富町こども家庭
総合支援センター



パプリカ

18歳未満のお子様がいる家庭などを対象に“あらゆる相談”に応じます。
【福祉課7番窓口】

電話 0983-33-1293



妊産婦や乳幼児に関するワンストップ
相談窓口です。お気軽にどうぞ。

【いきいき健康課】

電話 0983-33-6059

新富町子育て世代
包括支援センター



まある

令和3年3月定例会 議案一覧と審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第1号	令和2年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第2号	令和2年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第3号	令和2年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第4号	令和2年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第5号	令和2年度新富町土地取得特別会計補正予算	可決	全員
議案第6号	令和3年度新富町一般会計予算	可決	全員
議案第7号	令和3年度新富町国民健康保険特別会計予算	可決	全員
議案第8号	令和3年度新富町後期高齢者医療特別会計予算	可決	全員
議案第9号	令和3年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	全員
議案第10号	令和3年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	可決	全員
議案第11号	令和3年度新富町土地取得特別会計予算	可決	全員
議案第12号	令和3年度新富町水道事業会計予算	可決	全員
議案第13号	令和3年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	可決	全員
議案第14号	新富町新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給基金条例	可決	全員
議案第15号	行政手続き等の押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	可決	全員
議案第16号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第17号	新富町税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第18号	新富町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第19号	新富町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第20号	新富町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第21号	新富町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第22号	新富町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について(新富テゲバサッカースタジアム)	可決	全員
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	全員
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(公の施設の指定管理者の指定について)	承認	全員
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例)	承認	全員

町民インタビュー Vol.7

聞かせて！あなたの未来

～テゲバジャーロ宮崎を裏で支える人たち～

新富町商工会「テゲバ活性化委員会」



試合前日、ピッチバナー（看板）の設置



この時期は風が強く、横断幕を付け直す作業も



商工会会長の
井崎美恵子さん

商工会で「テゲバ活性化委員会」の委員長を務めています。テゲバジャーロ宮崎の応援を通じて商店街をはじめ新富町全体が盛り上がっていくことを望んでいます！

たくさんの皆さんにボランティアとして携わってほしいです。町民でテゲバジャーロ宮崎を育てていくつもりで応援しましょう！もちろん試合観戦もお願いします！！



商工会副会長の
川野俊博さん

ボランティアスタッフ募集中！



試合当日は雨、ボランティアスタッフは
カッパを着て対応していました



前日準備のボランティアの皆さん

編集後記

令和3年度が新たにスタートした。ユニリーバスタジアム新富ではJ3の開幕戦が行われ、初戦から5試合で3勝1敗1引き分け。さらに3連勝と好発進。今後の試合が楽しみだ。私も応援で盛り上げていきたいと思う。

しかし4月に入り「未曾有の災禍」の第4波への不安が大きくなってきた。また、県内にも変異株の疑いのある感染者が確認された。コロナ禍の峠はまだまだ見えないが、これから気持ちを緩めず感染対策を行いたい。そしてワクチン効果と合わせて、一日も早い終息を願う。

さなえ

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二
副委員長 小山 早苗
委員 松浦 美緒
出口 喜重郎
大木 俊二

連絡先 議会事務局

☎33-6139